

〈特集「アスペクト」「モダリティ」〉

## アフリカーンス語におけるアスペクト・モダリティ Aspect and modality expressions in Afrikaans

山藤 顕  
Akira Sando

東京外国語大学大学院総合国際学研究院  
Graduate School of Global Studies, Tokyo University of Foreign Studies

**要旨:** 本稿は、アフリカーンス語におけるアスペクトとモダリティに関するデータを、風間(2020)の「アスペクト」・「モダリティ」の英語版調査票を用いて収集し、分析した結果を提示する。

**Abstract:** This article presents the results of my preliminary research on Afrikaans aspect and modality expressions, using Kazama's (2020) questionnaire on aspect and modality expressions.

**DOI:** <https://doi.org/10.15026/0002000373>

**キーワード:** アフリカーンス語, ゲルマン語, アスペクト, モダリティ

**Keywords:** Afrikaans, Germanic, aspect, modality

### 1. はじめに

アフリカーンス語は動詞の活用が元の言語であるオランダ語に比べ簡素化している。現在形であれば *is* (不定詞: *wees*), *het* (不定詞: *hê*) を除き、不定詞と定動詞が同様の形となる。また、過去形の形態がほとんど消失しているため、過去のことはほとんどの場合現在完了形で表される。そのため、風間(2020)で扱われている過去形を用いた文においても、アフリカーンス語では基本的に現在完了形で表される<sup>1</sup>。

本稿では20代男性のアフリカーンス語母語話者に面談聞き取り調査を行った<sup>2</sup>。調査の方法としては、風間(2020)の英語の文章を見せたうえでアフリカーンス語に訳してもらった形である。また、協力者が英語を見てもうまく訳せなかった箇所については成田(2011)・成田(2012)のドイツ語のアンケートを参考にし、筆者が作成したアフリカーンス語の文章を用いて調査を行った。2節はアスペクトの言語データ、3節はモダリティの言語データとなる。

### 2. 言語データ (アスペクト)

(1) ~さん (固有名詞) は/あの人は もう来た。

a. *Andy het al klaar ge-kom.*

Andy have.AUX already finished.ADJ PTCP-come

(Andy はもう来た)



本稿の著作権は著者が保持し、クリエイティブ・コモンズ 表示 4.0 国際ライセンス(CC-BY) 下に提供します。  
<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.ja>

<sup>1</sup> アフリカーンス語の現在完了形は *het*(不定詞: *hê*)+過去分詞で表される。

<sup>2</sup> 山藤(2023)の協力者と同一人物である。

b. *Andy het al klaar aan<ge>kom.*  
 Andy have.AUX already finished.ADJ arrive<PTCP>  
 (Andy はもう到着した)

(1a-b)は *het*+過去分詞の形からなる現在完了形である。語順はドイツ語やオランダ語のような西ゲルマン語と同様であり、平叙文では文の2番目の要素に助動詞である *het* が、文末に過去分詞が現れる。(1a-b)ともに見られる *al klaar* に関しては、*al* か *klaar* どちらか1語を使うだけでも同様の意味となる。

(2) ~さん (固有名詞) は/あの人は もう来ている。

*Andy is al klaar hier.*  
 Andy be.PRS already finished.ADJ here  
 (Andy はもう来ている)

(2)は(1)と異なり、*kom*(英: come)ではなく *wees*(英: be)の現在形で表される。

(3) ~さん (固有名詞) は/あの人は まだ来っていない。

a. *Andy is nog nie hier nie.*  
 Andy be.PRS yet not.NEG here not.NEG  
 (Andy はまだ来っていない)

b. *Andy het nog nie ge-kom nie.*  
 Andy have.AUX yet not.NEG PTCP-come not.NEG  
 (Andy はまだ来っていない)

(3a)では現在形の文で、(3b)では現在完了形の文で表される<sup>3</sup>。(3a)では *wees*(英: be)を現在形として、(3b)では *kom*(英: come)を *het ... gekom* のように現在完了形として用いる。これらの文のうち、(3a)の方がより適切であるとの回答を得た。

(4) ~さん (固有名詞) は/あの人は まだ来ない。

*Andy is nie hier nie.*  
 Andy be.PRS not.NEG here not.NEG  
 (Andy はまだ来ない)

(3a)のように *wees*(英: be)を現在形として用いる。

(5) ~さん (固有名詞) は/あの人は もう (すぐ) 来る。

a. *Hy sal binnekort kom.*  
 he will.AUX soon come.INF  
 (彼はもうすぐ来る)

<sup>3</sup> アフリカーンス語では否定詞 *nie* を2つ用いることで単純否定を表す。

- b. *Hy gaan binnekort kom.*  
 he go.AUX soon come.INF  
 (彼はもうすぐ来る)
- c. *Hy sal nou-nou kom.*  
 he will.AUX now-now come.INF  
 (彼はもうすぐ来る)
- d. *Hy gaan nou-nou kom.*  
 he go.AUX now-now come.INF  
 (彼はもうすぐ来る)
- e. *Hy kom nou-nou.*  
 he come now-now  
 (彼はもうすぐ来る)

(5a-e)は丁寧な表現順となる。binnekort を使えば丁寧な表現に、nou-nou のように nou(英: now)を重複させる表現を使えばフランクなものとなる。未来の表現はアフリカーンス語では3種類あり、(5a,c)のように sal と不定詞を用いた未来形, (5b,d)のように gaan と不定詞を用いた未来形, (5e)のように現在形で表すものがある。未来の表現に関しては、以下のような文の場合に具体的な違いが見られる。

- f. *Ons eet vanaand by Saizeriya.*  
 we eat tonight at Saizeriya  
 (私たちは今夜サイゼリヤで食べます)
- g. *Ons gaan vanaand by Saizeriya eet.*  
 we go.AUX tonight at Saizeriya eat.INF  
 (私たちは今夜サイゼリヤで食べます)
- h. \**Ons sal vannaand by Saizeriya eet.*  
 we will.AUX tonight at Saizeriya eat.INF  
 (私たちは今夜サイゼリヤで食べます)

vanaand のような「今夜」という極めて近い未来を表す副詞を用いる場合、(5h)のような sal を用いた文は許容されない。(5f,g)はどちらも許容されるが、(5f)は今夜食事に行くことが確定した場合にのみ使われ、(5g)は今夜食事に行くことが確定している場合・していない場合どちらでも用いることができる。

(6) (あ!) ~さんが来た! [その人が来るのに気付いた場面での発話]

- a. *O! Hier kom Andy nou!*  
 oh! here come Andy now  
 (あ! Andy が来た!)
- b. *O! Andy het ge-kom.*  
 oh! Andy have.AUX PTCP-come  
 (あ! Andy が来た!)
- c. *O! Andy is hier!*  
 oh! Andy be.PRS here  
 (あ! Andy が来た!)

(6a)は来る場合を予期していた場合であり、現在形の *kom* を用いる。(6b-c)は来る場合を予期していなかった場合であり、*kom* を現在完了形にするか現在形の *is* を用いる。

(7) 昨日～さんが来たよ。

- a. *Andy het gister ge-kom.*  
 Andy have.AUX yesterday PTCP-come  
 (Andy が昨日来たよ)
- b. *Andy het gister aan<ge>kom.*  
 Andy have.AUX yesterday arrive <PTCP>  
 (Andy が昨日来たよ)

(7a-b)共に *kom*(英: come), *aankom*(英: arrive)が現在完了形で表される。

(8) 昨日～さんは来なかったよ。

- a. *Andy het nie gister ge-kom nie.*  
 Andy have.AUX not.NEG yesterday PTCP-come not.NEG  
 (Andy は昨日来なかったよ)
- b. *?Andy het nie gister aan<ge>kom nie.*  
 Andy have.AUX not.NEG yesterday arrive<PTCP> not.NEG  
 (Andy は昨日来なかったよ)

(7)を否定文にしたものである。(8a)は許容できるのに対して、(8b)は非常に違和感があるとの回答を得た。

(9) (私は) あのリンゴをもう食べた。

- Ek het al klaar daai appel ge-ëet.*  
 I have.AUX already finished.ADJ that a pple PTCP-eat  
 (私はあのリンゴをもう食べた)

現在完了形で表される。

(10) 私はあのリンゴをまだ食べていない。／私はあのリンゴをまだ食べない。

- a. *Ek het nog nie daai appel ge-ëet nie.*  
 I have.AUX yet not.NEG that apple PTCP-eat not.NEG  
 (私はあのリンゴをまだ食べていない)
- b. *Ek sal nie daai appel eet nie.*  
 I will.AUX not.NEG that apple eat.INF not.NEG  
 (私はあのリンゴをまだ食べない)
- c. *Ek gaan nie daai appel eet nie.*  
 I go.AUX not.NEG t hat a pple eat.INF not.NEG  
 (私はあのリンゴをまだ食べない)

(10a)に関しては現在完了形が用いられ、(10b-c)に関しては未来形が用いられる。

(11) あの人は今 (ちょうど) そのリンゴを食べています/食べているところです。

- a. *Hy is besig om die appel te eet.*  
 he be.PRS busy for.COMP the apple to eat.INF  
 (彼はそのリンゴを食べています)
- b. *Hy is nou aan die eet.*  
 he be.PRS now on the eat.NMLZ  
 (彼は今食べています)
- c. *\*Hy is nou die appel aan die eet.*  
 he be.PRS now the apple on the eat.NMLZ  
 (彼は今そのリンゴを食べています)
- d. *Hy sit nou die appel en eet.*  
 he sit now the a pple and eat.INF  
 (彼は今 (座って) リンゴを食べています)
- e. *Hy staan nou die appel en eet.*  
 he stand now the apple and eat.INF  
 (彼は今 (立って) リンゴを食べています)
- f. *Hy lê nou die appel en eet.*  
 he lay now the apple and eat.INF  
 (彼は今 (横になって) リンゴを食べています)

アフリカーンス語の進行形は3種類存在する。(11a)は *besig*(英: *busy*)を用いた進行形, (11b-c)は前置詞句を用いた進行形, (11d-f)は姿勢動詞(*sit, staan, lê*)を用いた進行形である。アフリカーンス語における進行形は基本的には(11a)の形を用いる。この表現は *besig*(英: *busy*)を用いているが、忙しい意味を表すわけではなく、進行形のマーカ―として現れる。

(11b-c)のような前置詞句進行形において, (11c)のように前置詞句の前に直接目的語 *die appel* が現れる場合は非文となるが, 以下のような場合は許容される。

- g. *\*Hy is nou die rugby aan die kyk.*  
 he be.PRS now the rugby on the watch.NMLZ  
 (彼は今ラグビーを視聴している)
- h. *Hy is nou aan die rugby kyk.*  
 he be.PRS now on the rugby watch.NMLZ  
 (彼は今ラグビー視聴をしている)

(11g)のように, *die rugby* (英: *the rugby*)が前置詞句の前に現れる場合は許容されないが, (11h)のように *kyk* の直前に置けば許容される。ただし(11h)のような形が許されるのは一部の語のみである。(11)のような「あの人は今 (ちょうど) そのリンゴを食べています」の場合は, (11i)のようにしても許容されない。

- i. *\*Hy is nou aan die appel eet.*  
 he be.PRS now on the apple eat.NMLZ  
 (彼は今リンゴを食べている)

(11d-f)は姿勢を表す動詞 *sit, staan, lê* (英: *sit, stand, lay*)+*en* (英: *and*)+不定詞で進行形となる。この進行形はどの姿勢で食べているか表すことができる。すなわち, (11d)であれば「座った状態でリンゴを食べている」, (11e)であれば「立った状態でリンゴを食べている」, (11f)であれば「横になった状態でリンゴを食べている」となる。

(12) 窓が開いている／窓が開いていた。

- a. *Die venster is oop.*  
 the window be.PRS opened.ADJ  
 (窓が開いている)
- b. *Die venster was oop.*  
 the window be.PST opened.ADJ  
 (窓が開いていた)

(12a)が現在形, (12b)が過去形となる。英語と同じように *wees + oop* の形が用いられる。

(13) 私は毎日新聞を読む／読んでいる。

- a. *Ek lees elke oggend die koerant.*  
 I read every morning the newspaper  
 (私は毎日 (同じ種類の) 新聞を読んでいる)
- b. *Ek lees elke oggend koerant.*  
 I read every morning newspaper  
 (私は毎日新聞を読んでいる)

(13a)と(13b)は定冠詞の有無で意味が異なる。(13a)は同じ種類の新聞を毎日読んでいる場合, (13b)は異なる新聞を毎日読んでいる場合に用いられる。これらはどちらも進行形は用いられない。

(14) あなたは (あなたの) お母さんに似ている。

- Jy lyk soos jou ma.*  
 you look like your mother  
 (あなたは (あなたの) お母さんに似ている)

英語同様に現在形を用いる。

(15) 私はその頃毎日学校に通っていた。

- Ek het daai tyd elke dag skool toe ge-gaan.*  
 I have.AUX that time every day school to.POSTP PTCP-go  
 (私はその頃毎日学校に通っていた)

現在完了形を用いる。

(16) 私は～に (大きな街の名前など) 行ったことがある.

a. *Ek was al Johannesburg toe.*

I be.PST already Johannesburg to.POSTP

(私はヨハネスブルクに行ったことがある)

b. *Ek was al Johannesburg.*

I be.PST already Johannesburg

(私はヨハネスブルクに行ったことがある)

c. *Ek het al Johannesburg besoek.*

I have.AUX already Johannesburg visit.PTCP

(私はヨハネスブルクを訪れたことがある)

(16a-c)はいずれも進行形は用いられない。(16a-b)では *wees* の過去形である *was* が, (16c)では *besoek*(英: visit)の現在完了形が用いられる。

(17) やっとバスは走り出した/走り始めた.

a. *Die bus het uiteindelik weg<ge>trek.*

the bus have.AUX finally trek.out<PTCP>

(バスがやっと走り出した)

b. *Die bus het uiteindelik ge-trek.*

the bus have.AUX finally PTCP-trek

(バスがやっと走り出した)

c. ?*Die bus het uiteindelik begin ry.*

the bus have.AUX finally begin ride

(バスがやっと走り出した)

(17)の例のような開始の表現の場合は, アフリカーンス語では(17a-b)のように現在完了形で用いられる。また, *begin* を用いる文について(17c)の例も提案してくれたが, 違和感があるとの回答を得た。

(18) 昨日彼女はずっと寝ていた。[長時間継続]

a. *Sy het gister heel-dag ge-slaap.*

she have.AUX yesterday all-day PTCP-sleep

(彼女は昨日一日中寝ていた)

b. *Sy was gister heel-dag aan die slaap. Miskien is sy siek.*

she was yesterday all-day on the sleep.INF maybe be.PRS she sick

(彼女は昨日一日中寝ていた。恐らく彼女は病気だろう)

(18a)では進行形ではない形が, (18b)では進行形が用いられる。(18a)は「ずっと寝ていた」という事実を述べているのみである。その一方で, (18b)は事実のみではなく, その後に「恐らく彼女は病気だろう」のような文が続くとの回答を得た。

(19) 私はそれをちょっと食べてみた。[試行]

a. *Ek het so 'n klein bietjie daar-van probeer.*  
I have.AUX so a little bit there-from try.PTCP

(私はそれをちょっと試してみた)

b. *Ek het dit ge-proe.*

I have.AUX it PTCP-taste

(私はそれをちょっと味わってみた)

「食べてみた」のような場合は現在完了形が使われる。(19)のような文の試行的な表現としては, *probeer* 「試す」や *proe* 「味わう」のどちらかが用いられる。

(20) あの人(ら)はそれ(ら)をみんなに分け与えた。[多くの(間接)目的語に対する多回のアスペクト]

*Hy het dit aan almal uit<ge>deel.*

he have.AUX it on everyone out.share<PTCP>

(彼はそれをみんなに分け与えた)

*uitdeel* という動詞自体が「分け与える」といった複数回繰り返される行為を表すため, このほかに多回のアスペクトを示す特別な形はなく, 現在完了形の *het...uitgedeel* が用いられる。

(21) さあ, (私たちは) 行くよ!

a. *Kom ons gaan!*

come.IMP we go.INF

((私たちは) 行くよ!)

b. *Kom ons eet 'n biltong!*

come.IMP we eat.INF a biltong

((私たちは) 干し肉を食べに行くよ!)

c. *\*Kom ons 'n biltong eet!*

come.IMP we a biltong eat.INF

((私たちは) 干し肉を食べに行くよ!)

英語の *let us* に相当する語は, アフリカーンス語では *kom ons* +不定詞で用いられる。目的語を含んだものが(21b-c)になるが, 不定詞は *kom ons* の直後に置くと回答を得た。

(22) 地球は太陽の周りを回っている。[恒常的な真理]

*Die aarde wentel om die son.*

the earth revolve around the sun

(地球は太陽の周りをまわっている)

現在形を用いる。



(23) あの木は今にも倒れそうだ.

- a. *Dit lyk as-of die boom enige oomblik kan omval.*  
 it seem as-if the tree any moment can.AUX topple.INF  
 (あの木は今にも倒れそうだ)
- b. *Daai boom gaan amper omval.*  
 that tree go.AUX almost topple.INF  
 (あの木はじきに倒れる)

lyk asof で「今にも～しそうだ」という意味を表す。最も適切な例は(23a)であるが、(23b)のような近接未来でも可能である。

(24) (私は) あやうく転ぶところだった。[未実現の事態]

- a. *Ek was op pad om te struikel.*  
 I be.PST on way for.COMP to stumble.INF  
 (私はあやうく転ぶところだった)
- b. *Ek was op pad om te trip.*  
 I be.PST on way for.COMP to stumble.INF  
 (私はあやうく転ぶところだった)

op pad で「～する途中だ」という意味を表す。(24a-b)を直訳すると「私は転ぶ途中であった」といった意味になる。

(25) 明日客が来るので、パンを買っておく。[準備]

- Ons kry môre gast-e, so ek gaan solank brood koop.*  
 we get tomorrow guest-PL so I go.AUX so bread buy.INF  
 (私たちは明日ゲストを招く。だから私はパンを買っておく)

準備を表す表現に関しては、未来形が用いられる。

(26) (私は) ～に (街とか市場とか) 行ったとき、この袋を買った。

- Ek het hierdie sak ge-koop toe ek in Johannesburg was.*  
 I have.AUX this bag PTCP-buy when I in Johannesburg be.PST  
 (私はヨハネスブルクに行ったとき、この袋を買った)

「ヨハネスブルクに行ったとき」は過去形の *was* が用いられ、「この袋を買った」は現在完了形が用いられる。これに関しては、*wees* (英: *be*) に過去形が存在するため過去形が使われる一方で、*koop* (英: *buy*) は過去形が存在しないため現在完了形が用いられる。

(27) (私は) ～に (街とか市場とか) 行く時/行く前に、この袋を買った。

- Ek het die sak ge-koop voordat ek na Johannesburg ge-gaan het.*  
 I have.AUX the bag PTCP-buy before I to Johannesburg PTCP-buy have.AUX  
 (ヨハネスブルクに行く前に、私はこの袋を買った)

「ヨハネスブルクに行く前」と「この袋を買った」は主文・従属文どちらも現在完了形が用いられる。

- (28) (私は) 彼が市場でこの袋を買ったのを知っていた。

*Ek het ge-weet hy het die sak in daai mark ge-koop.*

I have.AUX PTCP-know he have.AUX the bag in that market PTCP-buy

(私は彼がああ市場でこの袋を買ったのを知っていた)

(27)と同様に、「知っていた」と「彼はああ市場で袋を買った」は主文・従属文どちらも現在完了形が用いられる。

### 3. 言語データ (モダリティ)

- (1) (その仕事が終わったら) もう帰ってもいいですよ。

a. *Jy kan huis-toe gaan.*

you can.AUX.MOD house-to go.INF

(もう帰っていいですよ)

b. *Jy mag huis-toe gaan.*

you may.AUX.MOD house-to go.INF

(もう帰っていいですよ)

(1a-b)はどちらも話法の助動詞を使っている文である。(1a)は状況可能で *kan* が用いられており、後者は許可で *mag* が用いられる。

- (2) (腐っているから、あなたは) それを食べてはいけない／それを食べるな。

a. *Jy moe-nie dit eet nie.*

you must-not.AUX.MOD.NEG it eat.INF not.NEG

(あなたはそれを食べてはいけない)

b. *Hy is Moslem, so hy mag nie vark eet nie.*

he be.PRS Muslim so he may.AUX.MOD not.NEG pork eat.INF not.NEG

(彼はムスリムだ。だから彼は肉を食べてはならない。)

(2a)のように *moenie...nie* で禁止となる。また、(2b)のように戒律で禁止されている場合は *mag nie...nie* を用いる。

- (3) (遅くなったので) 私たちはもう帰らなければならない

*Ons moet nou huis-toe gaan.*

we must.AUX.MOD now house-to go.INF

(私たちは今帰らなければならない)

義務を表す場合、話法の助動詞の *moet* が用いられる。

(4) (雨が降るそうだから) 傘を持って出かけたほうがいいよ.

a. *Jy beter 'n sambreel saam vat vandag.*  
 you had.better a umbrella together take.INF today

(君は傘今日傘を持って行った方がよい)

b. *Ek dink jy moet vandag 'n sambreel saam vat.*

I think you must.AUX.MOD today a umbrella together take.INF

(君は今日傘を持って行った方がよいと思う)

c. *Ek dink dat jy vandag 'n sambreel moet saam vat.*

I think that.COMP you today a umbrella must.AUX.MOD together take.INF

(君は今日傘を持って行った方がよいと思う)

(4a)が基本的に用いられるもの, (4b)はフレンドリーな言い方, (4c)は強めな言い方となる. (4a)では英語の had better に相当する *beter* を用いた表現である. (4b-c)に関しては話法の助動詞である *moet* が用いられている. また, (4b)は従属接続詞 *dat* を省略した文, (4c)は省略していない文となる.

(5) 歳をとったら, 子供の言うことを聞くべきだ/聞くものだ.

a. *Mens-e moet na hulle kind-ers luister as hulle oud ge-word het.*  
 people-PL must.AUX.MOD to their child-PL listen if.CNJ they old PTCP-become have.AUX  
 (歳をとったら, 子供の言うことを聞くべきだ)

b. *'n Mens moet na jou kind-ers luister as jy oud ge-word het.*  
 a person must.AUX.MOD to your child-PL listen if.CNJ you old PTCP-become have.AUX  
 (歳をとったら, 子供の言うことを聞くべきだ)

「…すべきだ/…するものだ」は *moet* が用いられる. (5a)の *Mense* は複数形主語であり, これはひとりひとりに直接向かって言うような意味として用いられる. 一方, (5b)の *Mens* は単数形であり, 総称的な指示表現となっている.

(6) お腹が空いたので, (私は) 何か食べたい.

*Ek wil graag iets eet, want ek is honger.*  
 I want.to.AUX.MOD gladly something eat.INF bcause I be.PRES hungry  
 (私は何かを食べたい, なぜなら私は空腹だからだ)

「食べたい」のように何かしらの願望を表す場合は *wil* が用いられる. 更に, (6)のように *graag* がある場合は主語の願望を強める.

(7) 私が持ちましょう.

*Kom ek vat dit.*  
 come.IMP I take.INF it  
 (私が持ちましょう)

一人称の意志に関しては, *kom ek* で表される. (7)では *vat* が不定詞として *kom ek* の直後に現れる.

(8) じゃあ、一緒に昼ご飯を食べましょう。

*Kom ons eet saam middagete!*  
 come.IMP we eat.INF together lunch  
 (一緒に昼ご飯を食べましょう)

英語の let us は、アフリカーンス語では kom ons となる。(8)は(7)と同様に kom+人称代名詞の主格形+不定詞の形で勧誘を表す。

(9) 一緒に昼ご飯を食べませんか？

a. *Wil jy saam middagete eet?*  
 want.to.AUX.MOD you together lunch eat.INF  
 (一緒に夕食を食べますか？)

b. *Wil jy nie dalk saam middagete eet nie?*  
 want.to.AUX.MOD you not.NEG perhaps together lunch eat.INF not.NEG  
 (一緒に夕食を食べませんか？)

c. *Is jy lus om saam middagete te eet?*  
 be.PRS you in.the.mood for.COMP together lunch to eat.INF  
 (一緒に夕食を食べない？)

(9a)がニュートラルな表現、(9b)が丁寧な表現、(9c)がフランクな表現となる。(9a)の場合は、(6)のように wil + 不定詞の形を用いる。(9b)の場合は、(9a)の表現に否定を加えることで丁寧さを際立たせる形となる。(9c)は(9a,b)とは異なり、wil ではなく lus om...te 不定詞を用いる形で「～する気があるか」の意味となる。

(10) 明日、良い天気になるといいなあ。／明日は良い天気になってほしいなあ。

a. *Ek hoop dis mooi-weer môre.*  
 I hope it's good-weather tomorrow  
 (明日、良い天気になるといいなあ)

b. *Ek hoop môre se weer is goed.*  
 I hope tomorrow POSS weather be.PRS good  
 (明日の天気は良いといいなあ)

「明日」という近接未来であっても(3a-b)ともに wees (英: be)が現在形で用いられる。この文においては、「～になる」という意味であってもアフリカーンス語の raak(英: get)や word(英: become)は用いられない。

(11) (私はここで待っているから) すぐにそれを持って来なさい。

a. *Ek wag hier, so bring dit asseblief vinnig!*  
 I wait here so bring.IMP it please quickly  
 (私はここで待っている、だからそれをすぐに持ってきてください)

b. *Bring dit onmiddellik, ek wag hier.*  
 Bring.IMP it immediately I wait here  
 (すぐにそれを持って来なさい、私はここで待っています)

どちらも同じような意味になるが、「すぐに」という意味に関しては, (11b)で用いられる *onmiddellik* の方が (11a)の *vinnig* より強い意味合いで用いられる。

(12) そのペンをちょっと貸していただけませんか?

- a. *Sal jy asseblief vir my daai pen gou leen?*  
 shall.AUX.MOD you please for me that pen quickly lend.INF  
 (そのペンをちょっと貸していただけませんか)
- b. *Gee jy om om my gou daai pen te leen?*  
 give you round for.COMP me quickly that pen to lend.INF  
 (あなたは私にちょっとそのペンを貸してくれる気がありますか)

どちらも同じような意味になるが, (12a)では, *sal*+不定詞を, (12b)では分離動詞の *gee...om* を用いている。前者の *sal* は英語の *shall* に相当し, 後者 *gee...om* (<*omgee*>) は英語の *care* に相当する。

(13) あの人は中国語が読めます。 /あの人は中国語を読むことができます。

- Daai persoon kan Chinees/Sjinees lees.*  
 that person can.AUX.MOD Chinese read.INF  
 (あの人は中国語が読める)

能力可能の表現は, *kan*+不定詞で用いられる。「中国語」の表記は, *Chinees/Sjinees* の両表記の可能性があるとの回答を得た。発音はどちらも /'ʃi:niəs/ となる。

(14) 明かりが暗くて, ここに何が書いてあるのか, 読めない

- Ek kan nie lees wat hier ge-skryf staan nie, want dis te donker.*  
 I can.AUX.MOD not.NEG read.INF what here PTCP-write stand.AUX not.NEG because it's too dark  
 (私は何がここに書かれているのか読めない。なぜなら暗すぎるからだ)

(13)の能力可能同様に, (14)の状況可能においても *kan* が用いられる。

(15) (朝早く出発したから) 彼らはもう着いているはずだ /もう着いたに違いない。

- a. *Hulle behoort al aan<ge>kom te het.*  
 they should.AUX.MOD already arrive<PTCP> to have.AUX  
 (彼らはもう着いているはずだ)
- b. *Hulle moes seker al aan<ge>kom het.*  
 they must.AUX.PST surely already arrive<PTCP> have.AUX  
 (彼らはもう着いたに違いない)

確信や強い推測については(15a)の *behoort... te* や(15b)の *moes* の形が用いられる。(15a)の *behoort* は現在形, (15b)の *moes* は過去形である。(15b)では *moet*(英: *must*)を過去形の *moes* にすることで反実仮想を表すことができる。また, アフリカーンス語では本来 *te* の直後は不定詞となるが, (15a)に関しては *te* の直後であっても不定詞 *hê* ではなく *het* が現れる。(15b)に関しても, 語法の助動詞である *moes* があっても不定詞の形ではない *het* が現れる。

(16) (あの人は) 明日はたぶん来ないだろう。

a. *Hy sal seker nie môre kom nie.*

he will.AUX surely not.NEG tomorrow come.INF not.NEG

(彼は明日多分来ないだろう)

b. *Hy sal waarskynlik nie môre kom nie.*

he will.AUX probably not.NEG tomorrow come.INF not.NEG

(彼は明日多分来ないだろう)

c. *Ek vermoed hy sal dalk nie môre kom nie.*

I suspect he will.AUX maybe not.NEG tomorrow come.INF not.NEG

(私は明日彼が来ないだろうと思う)

(16)のような推量に関しては, *seker*, *waarskynlik*, *dalk* のような副詞を用いて表す. 確実性としては, *seker*>*waarskynlik*>*dalk* のようになるため, 来ない確率が高い順番としては, (16a)>(16b)>(16c)となる.

(17) 彼らはまだ来ないなんて, きっと途中で車が壊れたんじゃないか.

a. *Ek wonder of hulle kar nie dalk on-klaar ge-raak het nie,*

I wonder if.CNJ their car not.NEG maybe un-finished PTCP-get have.AUX not.NEG

*want hulle het nog nie aan<ge>kom nie.*

because they have.AUX yet not.NEG arrive<PTCP> not.NEG

(私は彼らの車が壊れたのじゃないかと思う. なぜなら彼らが到着していないからだ)

b. *Hulle het nog nie aan<ge>kom nie, so ek wonder of hulle kar*

*they have.AUX yet not.NEG arrive<PTCP> not.NEG so I wonder if.CNJ their car*

*nie dalk on-klaar geraak het nie.*

not.NEG maybe un-finished PTCP-get have.AUX not.NEG

(彼らはまだ到着していない. だから私は彼らの車が壊れたんじゃないかと思う)

(17a-b)どちらも副詞の *dalk* を用いて推量を表す.

(18) (昼間だからあの人は家に) さあ, いるかもしれないし, いないかもしれない.

*Ek is nie seker nie. hy mag dalk daar wees, maar dalk ook nie.*

I be.PRS not.NEG sure not.NEG he may.AUX.MOD maybe there be.INF but maybe also not.NEG

(私は確信がない...彼がそこにいるかもしれないし, いないかもしれない)

「~かもしれない」のような可能性に関しては *mag* を用いる. これに加え推量の副詞である *dalk* も同時に現れる.

(19) (額に触ってみて) どうもあなたは熱があるようだ.

*Dit lyk of jy dalk koors het.*

it look if.CNJ you maybe fever have.PRS

(どうもあなたは熱があるようだ)

「～のような」はアフリカーンス語では *dit lyk* で表される。これに加え推量の副詞の *dalk* も用いる。

(20) (天気予報によれば) 明日は雨が降るそうだ。

- a. *Dit gaan glo môre reën.*  
 it go.AUX allegedly tomorrow rain.INF  
 (明日は雨が降るそうだ)
- b. *Ek hoor dit gaan môre reën.*  
 I hear it go.AUX tomorrow rain.INF  
 (私は明日雨が降ると聞いている)
- c. *Dit gaan môre reën.*  
 it go.AUX tomorrow rain.INF  
 (明日雨が降るそうだ)

(20a-c)はどれも近接未来である *gaan*+不定詞の形で現れる。推量を表す副詞が用いられるのは(20a)のみであり、他は推量の副詞を用いていない。

(21) もしお金があったら、あの車を買うんだけれどなあ。

- As ek geld ge-had het sou ek daai kar koop!*  
 if.CNJI money PTCP-have have.AUX would.AUX.MOD.PST I that car buy.INF  
 (もしお金があったら、あの車を買うんだけれどなあ)

*sal*の過去形である *sou* を用いることで事実と反する事柄を仮想的に表すことができる。条件文については、(21)のような現在の事実に対する反実仮想であっても現在完了形を用いる。

(22) もしあなたが教えてくれていなかったら、私はそこにたどり着けなかったでしょう。

- a. *As jy my nie ge-sê het nie sou ek daai plek*  
 if.CNJ you me not.NEG PTCP-say have.AUX not,NEG would.AUX.MOD.PST I that place  
*nie ge-haal het nie!*  
 not.NEG PTCP-reach have.AUX not.NEG  
 (もしあなたが私に言わなかったら、私はその場所にたどり着けなかったでしょう)
- b. *Het jy my nie vertel nie, sou ek daai plek sekerlik*  
 have.AUX you me not.NEG tell.PTCP not.NEG, would.AUX.MOD.PST I that place surely  
*nie kon ge-haal het nie.*  
 not.NEG can.AUX.MOD.PST PTCP-reach have.AUX not.NEG  
 (もしあなたが私に伝えなかったら、私はその場所にたどり着けなかったでしょう)

「私はその場所にたどり着けなかったでしょう」の箇所は、(22a-b)どちらも(21)のように *sou* を用いる。(22a)は英語の *if* に相当する *as* を用いている一方で、(22b)は助動詞 *het* から始めることで仮定を表している。また、(22a-b)では(15)のように時制の表示が複数現れている。(22a)では *sal* の過去形である *sou* と *haal* の現在完了形である *het... gehaal* が現れる。(22b)では *sal*, *kan* の過去形である *sou*, *kon* が、*haal* の現在完了形である *het... gehaal* が現れ、合計3つの時制が同時に現れる。また、語法の助動詞である *sou* が来た場合は本来不定詞が現れるが、(22a-b)どちらも不定詞ではない *het* が現れる。

- (23) (あの人は) 街へ行きたがっている.

*Hy wil graag dorp/stad toe gaan.*  
 he want.to.AUX.MOD gladly town city to.POSTP go.INF  
 (彼は街/都市へ行きたがっている)

3人称の主体による希望でも1人称による希望を表す(6)と同様に *wil* を用いる.

- (24) 僕にもそれを少し飲ませろ.

*Laat my ook 'n bietjie daar-van drink.*  
 let.IMP me also a bit there-from drink-INF  
 (僕にもそれを少し飲ませろ)

*laat* を文頭に置くことで、命令を表す。被使役者は目的格代名詞である *my* が用いられる.

- (25) これはあの人に持って行かせろ／持って行かせよう.

- a. *Laat hy dit bring.*  
 let.IMP he it bring.INF  
 (これはあの人に持って行かせろ)
- b. *Laat hom dit bring.*  
 let.IMP him it bring.INF  
 (これはあの人に持って行かせろ)
- c. *Kom ons laat hom dit bring.*  
 come.IMP we let.AUX him it bring.INF  
 (これはあの人に持って行かせよう)

(25a-b)では(24)のような *laat* を用いた命令形が、(25c)では *laat* に加え(8)で扱った *kom ons* が用いられる。(25a)では被使役者が主格代名詞で現れ、(25b)では目的格代名詞で現れているが、どちらの表現でも可能との回答を得た.

- (26) そのテーブルの上のお菓子は後で食べなさい.

- a. *Eet asseblief later die soetgoed op die tafel.*  
 eat.IMP please later the sweets on the table  
 (そのテーブルの上のお菓子は後で食べてください)
- b. *Eet gerus later die soetgoed op die tafel.*  
 eat.IMP freely later the sweets on the table  
 (そのテーブルの上のお菓子は後で是非食べなさい)

「後で～せよ」という未来の命令は未来形にせず、現在形の命令形で表される.



(27) もっと早く来ればよかった。

- a. *As ek maar vroeër ge-kom het!* (Sou dit beter ge-wees het.)  
 if.CNJ I but earlier PTCP-come have.AUX Would.AUX.MOD it better PTCP-be have.AUX  
 (私が早く来ていたら! (良かったのに...))
- b. *Ai, dit sou beter ge-wees het as ek vroeër ge-kom het.*  
 oh, it would.AUX.MOD better PTCP-be have.AUX if.CNJ I earlier PTCP-come have.AUX  
 (私が早く来ていたらよかった)

「もし早く来ていたら」のような過去の反実仮想は(22)と同様に現在完了形が用いられる。「良かった」の箇所では(21)や(22)のように *sou* が用いられる。

(28) あなたも一緒に行ったら (どうですか) ?

- a. *Wat van as jy saam-gaan?*  
 what of if.CNJ you with-go  
 (あなたも (私なしで) 一緒に行ったらどうですか)
- b. *Wat van as jy saam-kom?*  
 what of if.CNJ you with-come  
 (あなたも (私ありで) 一緒に行ったらどうですか)

「あなたも一緒に行ったらどうですか?」のような提案に関しては *wat van* が用いられる。「一緒に行く」を意味する *saamgaan* は現在形として現れる。(28a)は一緒に行く相手に発話者が含まれず, (28b)は一緒に行く相手に発話者が含まれる。

(29) オレがそんなこと知るか!

- a. *Hoe moet ek weet?*  
 how must.AUX.MOD I know.INF  
 (どうしてオレがそんなことを知っているはずなのか?)
- b. *Hoe moes ek weet?*  
 how must.AUX.MOD.PRT I know.INF  
 (どうしてオレがそんなことを知っているはずなのか?)
- c. *Hoe moes ek ge-weet het daar-van?*  
 how must.AUX.MOD.PRT I PTCP-know have.AUX there-from  
 (どうしてオレがそんなことを知っているはずなのか?)

(29a-c)はいずれも反語疑問文で表される。(29a)では現在形である *moet* が, (29b-c)では *moet* の過去形である *moes* が用いられる。アフリカーンス語では、「そんなこと」がいつ起きたかによって現在形・過去形と使い分ける。例えば(29a)の場合であれば「~という政治家についてどう思うか」のような現時点で起きているときに用いられる。(29b-c)は, 発話者が昨日何かしらの問題を起こし, そのことについて詰問された場合に用いられるとの回答を得た。

(30) これを作った (料理した) のは, お母さんだよ? / いいえ, 私が作ったのよ.

*Wie het hierdie ge-maak, seker jou ma nè? / Nee, dit was ek.*

Who have.AUX this PTCP-make surely your mother right No it be.PST I

(誰がこれを作ったの? きっと君のお母さんだよ? / いや, それは私だよ)

「～だよ?」のような付加疑問文に関しては, アフリカーンス語では nè が用いられる.

#### 略号一覧

- 接辞境界	<>	接中辞	ADJ 形容詞	AUX 助動詞	CNJ 接続詞	COMP 補文標識
IMP 命令	INF 不定詞	MOD モダリティ	NEG 否定	NMLZ 名詞化	PL 複数	
POSS 所有	POSTP 後置詞	PRS 現在	PST 過去	PTCP 分詞		

#### 参考文献

- 風間伸次郎. 2020 「英語: 特集補遺データ「受動表現」「アスペクト」「モダリティ」「ヴォイスとその周辺」「所有・存在表現」「他動性」「連用修飾複文」「情報構造と名詞述語文」「情報構造の諸要素」「否定, 形容詞と連体修飾複文」, 『語学研究論集』 25, pp.139-171.
- 山藤頭 (2023) 「アフリカーンス語における受動表現」『語学研究論集』 27, pp.1027-1032.
- 成田節 (2011) 「ドイツ語アスペクト表現データ」『語学研究論集』 15, pp.231-244.
- 成田節 (2012) 「ドイツ語-データ: 「モダリティ」」『語学研究論集』 16, pp.75-86.

執筆者連絡先: aki.sando@gmail.com

原稿受理: 2023年12月10日